



高知市の町内、いたる所に在る防災倉庫

防災倉庫・資機材の設置等で、高知市を視察

同じ大地震に襲われる高知市に準じた防災対策を

七月二十三日、高知市へ『防災対策』の視察に行きました。高知市は、徳島市と同じ大地震を想定した防災対策を立てている自治体。徳島市の防災対策は、高知市に準じたものとする必要があります。今回は、防災対策の中でも重要課題である、自主防災会への自治体支援等について、高知市の取り組みを学んできました。

大地震発生から十五分が

まず、生死の分かれ目

「大地震だ！」という時、家屋や家具の下の敷きになっていたり方を救出する事態が想定されま



す。阪神淡路大震災では、亡くなられた方の八割が、救急車が到着する前の「大地震発生から十五分以内に死亡」していました。また逆に、「近所の人々によって十五分以内に多くの人が救出」されていました。「大地震発生後十五分以内が生死の分かれ目」 阪神淡路大震災の最大の教訓です。

高知市で進む

自主防災会結成や防災倉庫設置

「阪神淡路大震災の教訓を生かそう」という取り組みが、全国各地の自治体で実施されていますが、高知市も、そのうちの一つです。

高知市は人口約三十三万人（徳島

市約二十六万人） 自主防災会が六百七十六あります。組織率は八七・三％ 自主防災倉庫と資機材を有している自主防災会は約五百七十四にも達していますが、上掲の写真のように、高知市内のいたる所に防災倉庫が設置され、日頃の訓練に活用されています。

遅れている徳島市

防災倉庫が有るのは十％

徳島市の場合、自主防災会の数は七百二十七で高知市より多いんですが、組織率は四十三・四％と高知市よりはるかに低い 自主防災会ごと防災訓練など、日常活動が伴っていないのが徳島市の実態です。

その表われの一つが自主防災会の倉庫・資機材の保有数 徳島市内では、町内での防災倉庫をほとんど見かけませんが、そ



れも当然で、倉庫を保有している自主防災会は、わずか七十七 自主防災会のうちの、わずか十％しか保有していません。

高知市の約五百の防災倉庫は、市の補助金で設置されたものですが、徳島市の七十七の防災倉庫のうち、市の補助金で設置したものは、わずか二十七 あとの五十は「市民の負担」で設置されたものです。

防災倉庫・資機材等

徳島市の予算は高知市の一割

高知市では、防災倉庫や資機材の購入 防災訓練や学習会 防災マップの作成などに対し、自主防災会ごとに補助金を支給してあり、また小学校区単位でつくっている連合組織に対しても補助金を支給し、自主防災組織の育成強化を図っています。



ところが徳島市では、自主防災会ごとの補助金は支給しておらず、連合組織に対してのみ支給する制度しかありません。それが予算になって表われています。高知市の場合、約一億四千万円の予算ですが、徳島市は高知市の一割程度の予算しか組んでいません。

徳島市の場合、これでは自主防災会の育成強化が進まないのは当たり前です。

予算を増額し、高知市のように

自主防災会に直接補助を

私は市議会で「徳島市と同じ大地震に襲われる高知市に準じた防災対策を行うべき 予算を高知市並に増額し、自主防災会の育成強化を図るべき」だと、改善を求めています。

高知市の補助金

自主防災会への直接補助

① 資機材の購入など
上限六十万円、五十世帯未満を最小とし、プラス五十世帯ごとに十万円加算(初回限定) 学習会の開催、防

高知市・危険なブロック塀

今年度から耐震対策に補助金

高知県では、ブロック塀等の耐震対策を支援する「取り組みが進んでいますが、高知市でも今年度から事業を実施していますので、「どんなナカミなのか」視察してきました。

倒壊した塀で死傷者が

避難や消火活動の妨げに

過去の震災で、多くのブロック塀の倒壊被害がありました。倒壊した塀の下敷きになって死傷者が発生し

災訓練の実施、防災マップの作成、避難路の簡易な整備、防災資機材の購入

② 学習会・訓練など

補助上限額十万円(毎年申請可能) 学習会の開催、防災訓練の実施、防災マップの作成、避難路の簡易な整備

③ 資機材の購入

補助上限額十万円(四年に一回申請可能) 防災資機材の購入(直近三年間活動実績必要)

連合組織への補助

④ 学習会・訓練など

補助上限額十万円(毎年申請可能) 連合会の開催・運営、学習会の実施、防災訓練の実施

ています。倒壊

した塀は道路をふさぎ、避難や消火活動を妨げる場合もあります。また地震の



揺れが起きたとき、人間はとっさに物陰に身を寄せると言われています。身を寄せるブロック塀は安全でなければなりません。

高知県では八割の市町村が

ブロック塀の耐震対策を実施

ブロック塀の耐震対策ですが、高知県では三十四市町村のうち二十七市町村(約八割)が実施

しています。高知市もそのうちのひとつで、今年七月から実施するのとこととでした。

二十万円まで補助

危険なブロック塀除去や

フェンスや生け垣の設置

今年七月からの高知市の今年度予算は六百万円 国が二分の一、県と市が四分の一の二つの負担で、二十万円が補助限度額です。

まず、「ブロッ

ク塀の点検表」を対象地域に配布し、「自己点検」してもらい、危険な数値が出れば「自



「己申告」してもらうことを基本にしているとのことでした。
「徳島市でも早期実施を」
市議会でも求めています

「安全な避難路

を確保するため、危険なブロック塀の除去に補助金を支給する制度を作るよう、私は市議会でも求めています。未だ実現していません。



この声は、いろんな市民の方々から挙がっており、「待ったなしの課題」になっています。早期実施を求め、がんばっていきます。

編集後記

梅雨が明けた
と思つたら、連
日の猛暑 ま

いってしましますねえ。お変わりはないでしょうか。私は夏風邪を引いてしましまして、「肩がこるなあ」「胃が荒れてるなあ」と思っています。咳が出てきて、喉が痛くなりだして 熱が出てきて フウフウ言っています。

こんな状態の中、このニュースを書いたものですから 少々読みづらいかも すいません。「視察内容をお伝えしたい」という「熱意」が伝われば と思っています。

